



エルム



vol.71

発行日：令和4年5月16日

編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会 責任者／太田 秀一

HOKUYU INFORMATION

ご挨拶

今シーズンの札幌は豪雪に見舞われました。24時間の降雪量は平成11年からの統計では最も多く60cmになった日がありました。冬にはシベリアから冷たく乾いた空気が流れ込み暖かい日本海で水蒸気が上がり雪雲が作られます。今年の2月には平年より5℃ほど低いマイナス25℃ほどの寒気が流れこんでいました。そして北西の風です。この風により石狩湾の雪雲が札幌方面に流されました。普段は南や東に流され北海道の豪雪地帯、倶知安や岩見沢に大雪をもたらしますが、この2月は風向きが違ったようです。このため札幌が豪雪になりました。今回の記録的大雪の要因になったのは、北西の風が短時間に2度吹いたためのようです。

札幌市の除雪は大変で排雪も十分ではなく、道路わきに巨大な雪の壁ができてしまいました。歩くのも大変でしたが車でも道を曲がる時は、その道路から来る車が見ずらくごく慎重に動かなければなりませんでした。

家の周りの除雪も必要ですが今回は土曜、日曜日には運動、運動と言い聞かせて雪かきを行いました。前腕が痛くなったのはこのせいでした。

空港も除雪が追い付かず、また新型コロナのまん延防止等重点措置のこともあってか減便が相次ぎました。JRも除雪が不十分で動かない日もあったようです。

春です。前日との気温差が10℃前後と大きく変化する日が訪れ雪解けというよりは、圧雪、アイスバーンではないですが圧縮雪となりました。やがてはやはり雪解けになりました。屋根の雪も水滴となって落ちてきました。そして乾燥の春、いい天気ですが埃っぽかったのは今一でした。しかし雨の日があってこれも洗い流してくれました。そして、まん延防止等重点措置が解除され快晴のように感じられます。活気溢れて明るい日が続くことを期待してやみません。

副院長 久木田 和丘

◆特集

各科 医師のごあいさつ

◆新採用看護師のご紹介

◆新任医師のご紹介

札幌北楡病院 基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

特集
vol.71

札幌北榆病院 各科

医師のごあいさつ

外科

服部 優宏

外科は米川元樹、目黒順一、久木田和丘、小野寺一彦、堀江卓、高橋宏明、服部優宏、熱田義顕、後藤順一、谷山宣之、佐藤正法、杉山昂の12名です。透析・血管外科チームと消化器外科チームに分かれて診療しています。透析関連ではBlood Accessトラブル、維持透析、アフエーシスに幅広く対応しております。血管拡張デバイスとして末梢ステントグラフトであるViabahnやDrug-Coated Balloon (DCB)、また下肢静脈瘤の血管内焼灼術など熱田先生を中心に新たな治療の導入をしています。消化器外科はロボット手術が術者の症例数の規定をクリアしたと同時に縛りがとれ、保険適応可能になりました。さらに症例を積み重ねていきたいと思っております。現在、内視鏡外科学会技術認定医が2名おります。2021年の外科の手術件数は1318例で、消化器外科の全麻手術は277例でした。COVID19の終息を待ちわびていますが、外科として可能な限り多くの手術を行えるように努力していきたいと思っております。今年度もよろしくお願い致します。

肛門外科

小野寺 一彦

コロナ第6波、大雪、北京五輪、ロシアのウクライナ侵攻など目まぐるしい世の中にあっても当科の診療体制に変わりなく、宮下・山内・小野寺のうち1人が交代で月曜日から土曜日まで外来を担当しています。予約外も受け付けているので外来処置が必要な患者が来られると待ち時間が長くなることもあります。血栓性外痔核切除や肛門周囲膿瘍切開や内痔核出血の緊急止血注射は外来で施行されるのがほとんどです。

手術室を使うのは火・水・金の午前中で小野寺・山内で担当し、内痔核に対する日帰りのジオン注射が多いです。ほかには腰椎麻酔を要する内痔核の切除、痔瘻、肛門ポリープや腫瘍、肛門狭窄、コンジローマに対する手術などがあります。直腸脱は最近外科で腹腔鏡下手術をされることが多いです。

基本的に良性疾患ですので手術適応は厳格にし、またなるべく侵襲の少ない方法を取り、合併症を起こさないように心がけています。入院は主に9病棟にお世話になっていますが、他の科や部署にもいろいろ御協力いただいております。本年度も宜しく申し上げます。

当科では一般泌尿器科診療に加えて、当院の特色として前立腺癌の低侵襲治療であるTULSA(タルサ)治療を2019年に国内で初めて導入して負担の少ない前立腺癌の根治治療の普及を目指して現在も精力的に診療に当たっております。また、北海道内7施設、札幌市内4施設のみしかない腎移植施設として末期腎不全の根治的治療を提供し、医師のみならず移植コーディネーターによる充実したサポートにより安心した診療を受けていただいております。

当院では昨年度からは腎臓内科常勤医を迎え、末期腎不全に対する治療方法の3本柱である腎移植、血液透析、腹膜透析の全てを包括的、かつシームレスに提供することが可能となり、腎臓病総合医療センターの開設に伴い、その一翼を担っております。今後増加する前立腺癌、腎不全患者様のニーズに対応してまいります。

コロナ禍となってもう2年が経過し、いまだ感染を完全に封じ込めない現状に皆さんも不安な毎日を過ごされているのではないのでしょうか。血液内科ではコロナ感染において重症化リスクの高い患者への対応が主ですが、院内感染対策の徹底により従来通りに診療が行えています。しかし、今後も全国的なコロナ感染者数の推移に伴い血液疾患患者への感染リスクは同様に続くと思われ、感染症対策を強化しつつ全ての患者さんに対して安心・安全な医療を提供いたします。

さて、令和3年度末における医師の異動は江端医師、長井医師、藤井医師の3名となりました。当院は北海道における血液疾患の受け入れ患者数は最多ですが、北海道における研修医教育研修施設としても重要な役割を担っており、今年度から3名の医師が新たに赴任いたしました。まず、血液内科部長に就任した杉田純一は、以前に当院での研修後に北海道大学大学院血液内科での基礎研究を終えた後、北大病院では血液病および移植医療のエキスパートとして長年活躍されておりました。杉田部長の赴任により、当院における血液疾患治療および移植医療の更なる発展が多くの患者救命を導くものと期待しています。また、新任若手医師2名の三木康祐および野津麟太郎も北海道大学血液内科の関連施設で研修を積んだ精鋭で、ともにやる気満々で診療にあたっております。新たに加わった優秀な医師らは必ず皆様のご期待に応えるものと確信しております。さらに、小生も副院長として血液内科のみならず北榆病院全体の更なるレベルアップを目標に精進いたします。

また、以前より当科では移植などの先端医療の他に、難治性疾患への新薬によるグローバル治験も多数行ってきました。現在も急性リンパ性白血病、骨髄線維症、悪性リンパ腫や骨髄異形成症候群に対する治験を進めております。治験は適格基準があり、皆さんが登録できるとは限りませんが、現存治療では十分な効果が得られない場合や効果的な新薬を試したい希望がありましたら気軽にお問い合わせやご紹介をいただければ幸いです。

各科 医師のごあいさつ

消化器内科



片桐 雅樹

消化器内科は、消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患を担当しています。

早期胃癌・早期大腸癌に対しての内視鏡的粘膜下層切開剥離術、消化器癌に対する化学療法、炎症性腸疾患に対する血球除去療法などにも対応しています。また外科治療の適応疾患については外科と密に連携しています。

今年度は、片桐雅樹、高野眞寿、佐賀啓良の3名で診療にあたっています。日本消化器病学会指導医2名、専門医1名、日本消化器内視鏡学会指導医2名、専門医1名、日本肝臓学会専門医2名で、質の高い医療を目指しています。

なお、今年度より、診察は完全予約制にさせていただき、新患の受け入れ可能な日を決めさせていただいております。



完全予約制になりました

また、新型コロナウイルス(COVID-19)の流行のため、内視鏡検査・治療にあたりましては、日本消化器内視鏡学会のガイドラインに沿って、感染対策を行いながら、必要な検査・治療を行っています。

どうぞ、ご理解の程、よろしくお願いたします。

小児患春期科



小林 良二

令和4年度は小児科開設23年目、病棟開設16年目にあたります。本年度も当科の診療体制に変わりはありません。常勤は5名で昨年度秋に小玉浩弥先生が秋田に戻られ、佐野弘純先生が復職しています。また非常勤として小林邦彦名誉教授が月火水曜に外来を担当され、まつもと小児科の大島淳二郎先生が水曜午後の外来をおこない病診連携を行っております。血液腫瘍性疾患を中心に小児から思春期まで(ときに若年成人も)診療を行っております。

一昨年より北海道教育委員会の事業としてスタートした高校生入院患者のリモート授業による単位獲得のシステムですが、すでに7名の方が利用されており成果を上げております。今後は対応の異なる私立高校への働きかけが課題となっております。

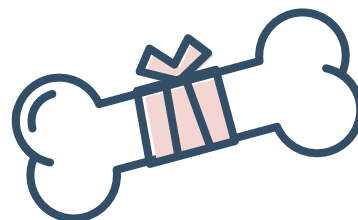


整形外科



東 輝彦

当科は常勤医3人、非常勤医1人の体制で治療にあたっています。
基本的には、整形外科一般の治療を行っています。外傷、骨折に対しての手術、骨接合術等から、関節症等の慢性疾患に対しての人工関節置換まで行います。
当院の特長としては、開放骨折等の緊急を要する手術は、対応できかねますが、血液疾患、透析患者さんの骨折や整形外科的問題に対して、経験にもとづく適切な治療を行っております。



麻酔科・緩和・ペインクリニック科



沼澤 理絵

麻酔科は今年度も私と山吹由香の2名体制で診療を行います。2021年1月から12月までの全身麻酔手術件数は455件でした。全身麻酔の安全性は非常に高くなっていますが、様々な合併症を持ちながら手術を受ける方も多くなっているため、細心の注意が必要です。全身麻酔の手術が決定したら麻酔科でも診察を行います。既往歴や並存疾患、服用している薬などを確認し、気道の状態を評価して麻酔方法を決定します。麻酔科診察は手術の直前になることが多いですが、合併症の状態によっては余裕を持って診察を行うことが安全な麻酔につながります。その場合は前もって麻酔科外来にお越しいただくこともありますので、何卒ご理解の程お願い致します。

麻酔科の業務としては、手術麻酔の他に救急集中治療や緩和医療、ペインクリニックがあります。緩和医療には特に力を入れており、多職種で緩和ケア病棟およびチーム診療に関わっています。ペインクリニックは毎週水曜日の午前

中に沼澤が外来診療を行っています。完全予約制となりますが、ペインクリニック専門医として痛みに関する相談を受けていますので、是非ともご利用いただければと思います。



各科 医師のごあいさつ

歯 科

加藤 剛士

広報誌エルムでの医師のご挨拶は初めてになります。お声掛けいただきありがとうございます。このような場でご挨拶できることを、心より嬉しく存じます。

さて、昨年度も新型コロナウイルス感染症の猛威が続いた一年間でした。歯科では若干の影響を受けましたが、幸い、休診等の大きな問題は生じず今まで診療できています。今後、何事もないことを祈っております。

当科では令和4年2月に、歯科レントゲン装置が最新機種へと変わり、画像がより鮮明になり診断能力が向上しました。

また、今年度から常勤歯科医師に高橋奏多先生が加わり常勤2人体制となりました。これにより、お待たせしている患者の診療待ち期間が短縮されることを祈っております。

これからも、より良い診療や患者対応、他科との連携ができるように努めていきますので、今後ともよろしく願いいたします。



各科医師並びにスタッフ一同より、今年度もよろしく願いいたします



よろしくお願いいたします！

新採用看護師のご紹介



第6病棟
小林 未季

札幌北榆病院に入職し、「看護師」という立場に立って患者さんへ看護を行う喜びがある反面、緊張や不安な気持ちも強くあります。そのため、積極的に学習を行いながら基本的な知識や技術をしっかりと身につけ、チームの一員としての役割や責任を果たせるよう日々努力していきたくと思います。私は、患者さんが入院生活を送るにあたり、苦痛な思いをせず安心して療養生活を送っていただけるような看護を提供することが大切だと考えています。そのため、一人一人の患者さんに真摯に向き合い、寄り添うことができる看護師になりたいと思います。また、笑顔やコミュニケーションを大切に、少しでも元気を与えられたり、頼られるような看護師になりたいです。そのため日々精進していきたくと思います。



第7病棟
菅原 みのり

私のこれからの抱負は、まず知識・技術を身につけられるよう、日々努力し、安全に患者さんにケアをでき、患者さんにも安心してもらえる看護師になることです。そのためには、積極的に学ぶこと、自分の健康管理もしっかりと行うこと、マニュアルに基づき、責任をもって看護を行うこと、落ち着いて、笑顔で患者さんに接していくことを大切に頑張ります。

私は、7病棟の血液内科に配属されました。まだ分からないことばかりでとても不安ですが、自分のできることを一生懸命頑張りたいです。また、化学療法をしている患者さんが多いため、感染管理をしっかりと行い辛い治療をしている患者さんが安楽に過ごせるような声掛けやケア、また患者さんの家族にも寄り添い、頼ってもらえるような看護師になれるように頑張ります。



第8病棟
愛下 渚

3、4年次の実習はコロナ感染防止のため大半がオンラインや学内での実施で、実際に患者さんと接する機会が少なく、心情や生活背景などの情報収集に難しさを感じていました。疾患や治療に不安を抱える患者さんにとってご家族との面会が制限されている現状は、感染への不安やご家族と会えない寂しさなど抱える苦痛が増えているといえます。全病室が個室であり、「患者様」ではなく「患者さん」と呼び出すといった札幌北榆病院の医療提供の仕方は、患者さんにとって看護師が一番身近で親しみやすいという認識もっていただけると共に、一人一人と向き合うことで心身の苦痛を少しでも理解・軽減することができ、私が理想とする安心して笑顔で自宅・地域に帰られる個別性に沿った看護の提供が可能であると考えています。これからは看護師の一員として責任をもって患者さんの心身のケアはもちろん、安心して過ごせる環境づくりにも励みたいです。

4月から5名の医師が新しく入職しました。よろしくお願いいたします。

新任医師のご紹介



消化器内科

佐賀 啓良



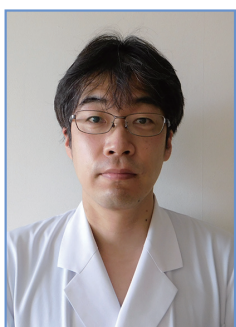
このたび開成病院消化器科から北榆病院の消化器内科に移動となった佐賀と申します。御依頼がありましたので駄文で申し訳ありませんが、自己紹介させていただきます。ももとは北海道生まれですが、父親が普通の会社員で転勤族のため小学2年生からはずっと本州で過ごし、小学校で2回、中学校で1回、高校で1回転校をして最終的には県立千葉高校を卒業しました。高校3年の12月に病気をして1ヶ月弱入院し、入院が受験前だったため受験戦争に完全に出遅れて1年浪人し、その後生まれ故郷の北海道に帰り北大に進学しております。北大を昭和56年に卒業し、その後第3内科宮崎教授の教室に入局し、網走厚生病院の初期研修ののち消化器グループに属し特に肝疾患の勉強をさせていただきました。平成5年に大学を出て中央区の愛育病院やススキノにあった井上病院などに勤務し、平成28年4月から開成病院に勤務しました。

専門は肝疾患以外にも内視鏡を含め消化器疾患一般の診療しております。趣味は軽いミステリー本などの読書とクラシック中心の音楽の鑑賞とチェロを少しだけ習っています。

小児期の転校がトラウマで人見知りの引っ込み思案な性格ですのでこちらからはあまり話しかけるのは苦手です。いままではひっそりのんびりと勤務医生活を満喫しておりましたが、このような活発な病院に勤務することになり、転勤の連絡をした先生方からは大変だねと言われてこの年で大丈夫かと自分自身も不安を感じております。とはいえ、皆様にご迷惑のかからないように少しでもお役にたれてばと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

血液内科

杉田 純一



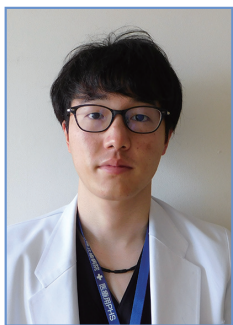
2022年4月1日より血液内科部長となりました杉田純一と申します。私は2001年に北海道大学医学部(77期)を卒業し、2001年は北海道大学病院、2002年は市立札幌病院、2003年は釧路労災病院、2004年に札幌北榆病院に勤務、2005年から2022年3月までは北海道大学病院で勤務をしておりました。

専門は血液内科であり、中でも造血幹細胞移植、さらにその中でも「移植後シクロホスファミド」という新しいGVHD予防法の開発をこの10年間行ってまいりました。この方法は古くからある抗がん剤であるシクロホスファミドを、移植後3日目と4日目に投与するというシンプルな方法ですが、従来法よりも優れたGVHD抑制効果を示すことから世界中で急速に普及してきています。造血幹細胞移植ではHLA適合移植が従来は大前提でしたが、この方法を用いることで親子などHLAの半分しか一致していないHLA半合致移植においてもHLA適合移植と同等の移植成績が示されるようになりました。国内では私が研究責任者をさせていただき2013年より7つの全国多施設共同第II相試験を実施し有効性、安全性を検証しました。これらの試験結果をもとに2021年9月に社会保険診療報酬支払基金の審査情報提供事例に提示され、現在は保険診療としての使用が可能となっています。次のステップとしてはHLA半合致移植のみならず、HLA適合移植においてもこのGVHD予防法を実施できるようにするため全国多施設での特定臨床研究を実施中です。

また血液内科以外では前職が北海道大学病院検査・輸血部の副部長でしたので、輸血領域、臨床検査領域にも大変興味をもっております。日本輸血・細胞治療学会認定医、日本臨床検査医学会臨床検査専門医、臨床検査管理医も有しておりますので、血液内科分野のみならず、輸血分野、臨床検査医学分野におきましても皆様にお役立ちできればと考えています。皆様、何卒よろしくお願いいたします。

血液内科

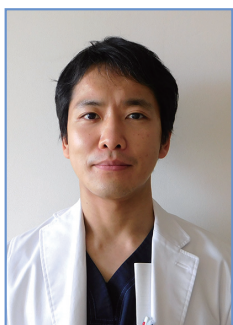
野津 麟太郎



令和4年度より新しく入職させて頂きました、医師4年目になりました血液内科の野津と申します。出身は知床半島の北の付け根にある斜里町というところで、小学校および中学校時代を斜里町で過ごしました。高校からは旭川市へ転居となり、旭川東高校、旭川医科大学に進学しました。医師になり初期研修1年目は北海道大学病院、2年目は帯広厚生病院で行いました。趣味はランニング、筋トレ、読書です。もともとは中学～大学卒業までの12年間は陸上競技(800mと1500m)をやっておりました。現在はその面影もない体型になってしまいましたが、細々とランニングを続けています。これ以上太らないようにランニングと筋トレで日々抵抗しております。昨年度は釧路労災病院にて血液疾患だけでなく、幅広い内科疾患を診療させて頂きました。この経験を当院でも生かして、皆様のお役に立てるよう尽力致します。また当院での診療を通して、血液内科として一段階成長できるよう努めて参ります。これから何卒宜しくお願い致します。

血液内科

三木 康祐



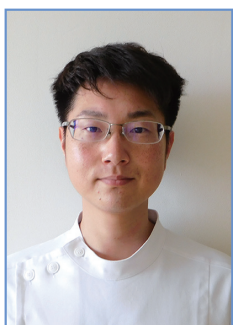
今年度から血液内科に赴任いたしました、三木康祐(みきこうすけ)と申します。もともとは関西出身で、大学から関東に移り、医師になってから北海道に移ってまいりました。子供の成長とともに北海道の生活にもだいぶ慣れてきました。

札幌北榆病院の血液内科診療については、以前から道内随一とも言えるその内容に関して伝え聞いておりました。私も当院血液内科の一員として診療に関わることができ非常に嬉しく思います。当院血液内科では多くの患者様に対してそれぞれの長期的な治療がなされており、医師同士・多職種間の連携が重要になりますが、赴任して間もない時期からチーム医療が日頃から実践されていることを実感しました。また、私自身まだ環境に慣れない時期に同僚の医師やコメディカルスタッフから手厚い協力・サポートを受け、診療に集中しやすい環境であると切に感じております。

学ぶことが多い立場ですが、日々精進し、患者様の人生観・価値観を大切にしながらより良い医療を実践していければと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。

歯科

高橋 奏多



初めまして。2022年4月から入職致しました。

生まれは道東の中標津町で、幼少期は自然に囲まれて過ごしました。スポーツが好きで、少年野球、剣道、スピードスケート、陸上競技、テニスなど様々なスポーツを経験してきました。中でも陸上競技の経験が長く、フルマラソンを完走したこともあります。趣味は釣りで、週末はよく海に出掛けます。今年の目標は船舶免許の取得です。

高校から札幌に出てきて、札幌南高校、北大歯学部を卒業し、北大病院(高次口腔医療センター)、釧路市立病院口腔外科で研修医を終えた後、北大大学院に進みました。大学院では顎筋電図の研究などに携わり、北大病院で補綴(入れ歯、被せもの)を中心に研鑽を積んできました。これまでの経験を生かして頑張っていきたいと思っています。

高齢化が進んだ現在、歯科医師に求められているのは、単に歯を治すということに留まらず、口腔の健康を守ることで全身の健康に繋げていくことだと考えています。北榆病院の歯科には様々な疾患を抱えた患者さんがいらっしゃいますが、そのような方々のニーズに応えられるよう、誠心誠意取り組んでいきたいと思っています。口の中のことで困ったことがあれば是非ご相談ください。皆さんよろしくお願い致します。

外来診察担当一覧

■ 午前 □ 午後

(令和4年4月1日現在)

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科	太田 小笠原(正) 小笠原(勳) 小島	小林 今村 日高	小林 今村 杉井	岡田 杉井 長井 [SO外来] 小林 (15:00~16:00) (完全予約制)	小林 小笠原(正) 岡田 横山	太田 今村 横山	太田 小林 日高 荒	杉田 三木 荒	小林 小笠原(正) 岡田 杉田	今村 小笠原(勳) 野津	交替医師
消化器内科 (予約診療)	片桐 佐賀 (新患受入可)	中村	佐賀 梅村 (新患受入可)	高野	松田 (5月~) 片桐 (5月~新患可)	高野 [肝専門外来] 須田 (13:30~14:30)	高野	片桐	片桐	佐賀	交替医師
糖尿病代謝内科					※1澤村		※1澤村		澤村		
循環器内科					交替医師		交替医師				
外科	米川 (隔週) 後藤	目黒	服部 (隔週) 杉山	佐藤/杉山 (隔週交代) 久木田	目黒 服部	堀江 堀江 高橋 [フットケア外来] (13:30~16:00) (完全予約制)	堀江 高橋	高橋	久木田 佐藤	堀江 佐藤 (隔週)	交替医師
血管外科	熱田(隔週)										
肛門外科	小野寺		宮下	山内	宮下	山内	小野寺		宮下	山内	交替医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30~) (予約診療) 東山(午前のみ予約診療)				東山 (予約診療)		三浦(9:30~) (予約診療) 東山		東山 (予約診療)		
腎臓内科	吉原				吉原		吉原				
整形外科	東 高橋		東 大野		高橋		東 大野		高橋 野 (11:00まで)		
小児 思春期科	小林(邦) 小林(良)	小林(邦) 堀	小林(邦) 佐野	堀 [アレルギー外来] 小林(邦)	小林(邦) 柳	大島 佐野	【血液外来】 小林(良) (完全予約制)		松島 小林(良)	柳 【血液外来】 ※2小林(良) (完全予約制)	交替医師
スリープ外来			高橋								
緩和・ペインクリニック (完全予約制)					沼澤						
禁煙外来 (完全予約制)		三浦									
歯科 (完全予約制)	加藤/高橋		加藤/高橋/大畑		加藤/高橋		加藤/高橋/北大医師		加藤/高橋		加藤/高橋

※1 糖尿病代謝内科：第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。
 ※2 金曜日午後の小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオピニオン外来」も併せて担当しております。
 ◇ 都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

外来予約 電話受付 【平日のみ】 午前 9 時 00 分 ~ 12 時 00 分 / 午後 13 時 30 分 ~ 16 時 00 分
予約専用電話 TEL 011-865-0201

歯科予約 【月・火・木・金】 午前 9 時 00 分 ~ 11 時 30 分 / 午後 13 時 30 分 ~ 16 時 30 分
 【水・土】 午前 9 時 00 分 ~ 11 時 30 分
TEL 011-865-8800(歯科直通)

編集後記

いつも広報誌エルムをご覧いただきありがとうございます。久しぶりの自粛制限無しのGWでしたが、皆様はどのように過ごされましたか？次号は9月発刊予定です。お楽しみに。(S・M)



診療科目
 外科・消化器外科・血管外科・肛門外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住所 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号
 TEL: (011) 865-0111 FAX: (011) 865-9634

交通 地下鉄白石駅5番出口から環状通り 北の方へ徒歩5分左手

ホームページ <https://www.hokuyu-aoth.org/>

